

(新)アジア3R事業化・制度化モデル事業推進費

135百万円(0百万円)

廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室

1. 事業の概要

アジアの途上国では、適正な廃棄物処理及びリサイクルを進めるための制度の構築や運用、技術の移転が不足している。このため、我が国の制度や経験の情報を行政当局に提供するとともに、現地の実情を踏まえた日本企業等が有する技術の展開を目指した廃棄物回収やリサイクルのための社会的システムのモデル事業をアジアの3カ国を対象に実施する。

また、特に、日中の環境大臣が合意した川崎市と中国瀋陽市との循環経済産業の発展を通じた環境にやさしい都市の構築に係る協力を推進するため、我が国の技術を活用した廃棄物・リサイクル事業の形成を支援する。

2. 事業計画

アジア3R事業化モデル事業

- ・我が国の廃棄物・リサイクルに関する法制度、技術指針等の情報、実施経験等を提供する専門家セミナーをモデル事業対象国で開催する。
- ・廃棄物・リサイクル技術の途上国への適用可能性の調査を行う。

川崎市・瀋陽市協力構築支援事業

中国瀋陽市における我が国の技術を活用した廃棄物・リサイクル事業の形成を支援するため、対象技術の現地での適合性の調査及び技術導入の実施可能性調査並びに対象技術の導入に対応する制度・政策の検討及び現地関係当局への提言を行う。


次年度以降は、モデル事業についてフィージビリティ調査の実施、モデル事業の試行へと進めていく。

3. 施策の効果



我が国の廃棄物・リサイクル対策の情報、経験を活用した途上国における適切な廃棄物対策システムの構築や、我が国企業が有する技術の途上国への普及拡大につながることが期待される。

アジア3R事業化・制度化モデル事業推進費

アジアの途上国現地の廃棄物問題の実情や日系企業のニーズ等を踏まえた廃棄物リサイクルのためのシステム作りが求められている。



アジアにおいて我が国の経験や技術を活用した廃棄物回収やリサイクルのシステムの構築を支援



・我が国の制度、技術に関するセミナー開催による知見や経験の提供
・我が国の技術の適合性調査、モデル事業支援



・瀋陽市への技術導入のための適合性調査
・技術導入のための政策的対応策の提案